

車止めについて

Water flea

～はじめに～

路線には始まりがあり、終わりがある。その両方に存在するものが、今回説明していく車止めである。私は幼い時から車止めが好きで、見かける度にほぼ必ずと言っていいほど撮影している。何故私は車止めが好きなのか、それは車止めにロマンを感じるからである。例として東北新幹線の東京駅にある車止めを挙げる。東北新幹線は、今では北海道新幹線開業により新函館北斗まで開通しており、また秋田・上越・北陸・山形などとも繋がっている。色々な方面と繋がっている路線がこの車止めで終わる、と考えると何かロマンを感じ、かっこいいと思ってしまうのである。今回はそんな車止めについて自分が今まで撮り集めてきたものを紹介しながら、分類していこうと思う。

～種類分け～

車止めには性能によって大きく二つの種類に分けることができる。またその中でも特徴やメーカーによってさらに細分化できる。

▶非緩衝式車止め

この「非緩衝式車止め」には衝撃吸収機能がない。ただ砂利を盛っただけのものやコンクリートを固めたただけのものもあり、こういった特徴によって4つの種類に分類することができる。

①第一種車止め 　ただ砂利を盛っただけの車止めである。衝撃吸収機能はほぼ皆無と思われる。

・嵯峨野観光鉄道 嵯峨嵐山駅

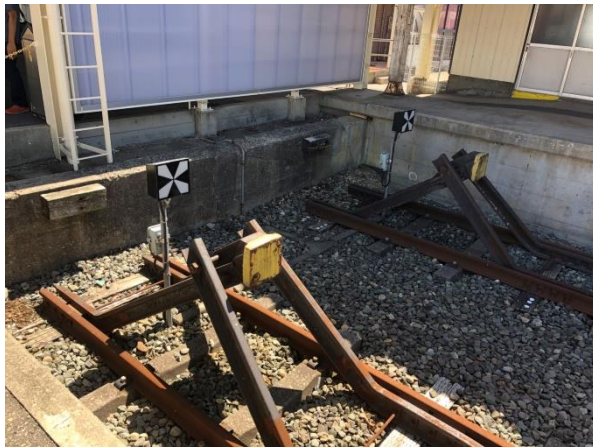
車輛を抑制するというより、ただの「標識」としての意味合いが強い。おそらくこの第一種車止めは設置するのが簡易なため、多くのところで見ることが可能だろう。



②第二種車止め レールを曲げて作られたもの。もっとも一般的なものである。

・羽越本線 酒田駅

・一畑電車 出雲大社前駅



・西武池袋線 西武秩父駅
(※)

・Universal Studios Japan Hogwarts Express



(※:少し形状は異なるが、レールを曲げて作られているので第二種に分類した。)

他にも、「一畑電車 出雲大社前駅」や「西武池袋線 飯能駅」などがある。

③第三種車止め 鋳物プレートが設置されている。非常にシンプルな構造である。

・鳥取鉄道記念物公園



④制走堤 コンクリートで固めたものを設置したもの。一見すると、とても強固に見える。しかし、衝撃を吸収することはできない。

・都電荒川線 早稲田駅

・都電荒川線 三ノ輪駅



・JR 貨物線 秋田港駅



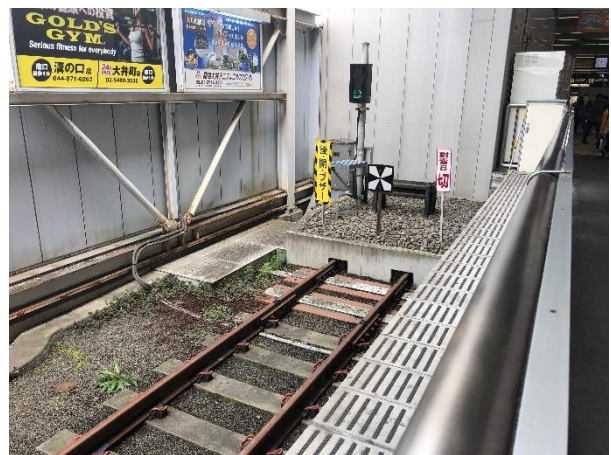
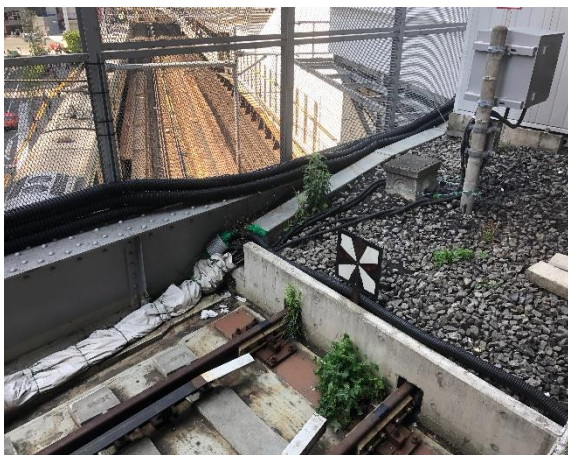
・京都丹後鉄道 西舞鶴駅



・東急池上線 五反田駅



・東急大井町線 大井町駅



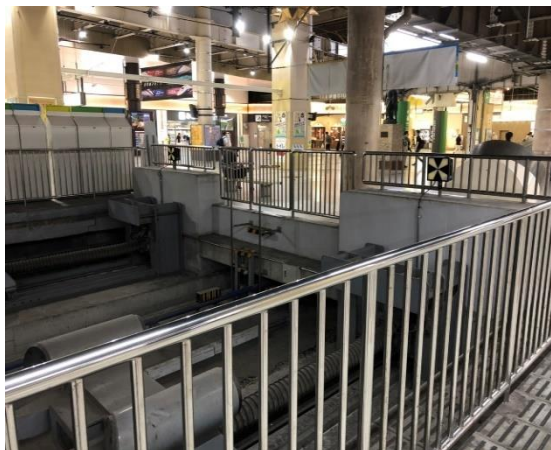
他にも「磐越西線 会津若松駅」などがある。

➤緩衝式車止め

この「緩衝式車止め」には「非緩衝式車止め」とは異なり衝撃吸収機能がある。
この「緩衝式車止め」を製作している会社として、「日本車輛」や「京三製作所」、
「Rawie 社」などが挙げられる。(下で紹介しているのはあくまで例である。)

①日本車輛

・東北本線 上野駅 15、16 番線



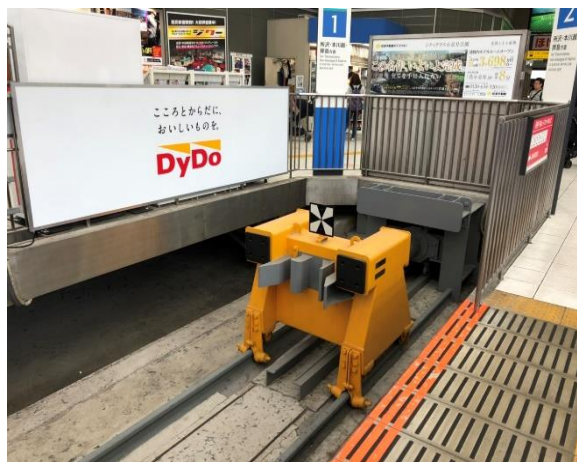
②京三製作所

・一畑電車 電鉄出雲市駅 (ハニカム式コースト
ト ッ パ シ リ ン ダ 型)



③Rawie 社

・西武新宿線 西武新宿駅 (2 枚)



➤特殊編・海外編

・東京モノレール羽田空港線 浜松町駅



・リオデジャネイロ コルコバードの丘登山線



・京都鉄道博物館 引込線

※ 衝撃吸収用のバネが設置されている。



京都鉄道博物館の引込線にある第三種車止めである。壁に車止めの標識が掛けられている、なかなかない形式である。また、車止めの標識をここまで近距離で見られる所はない。車止めマニアの方は一度見てみると面白いだろう。

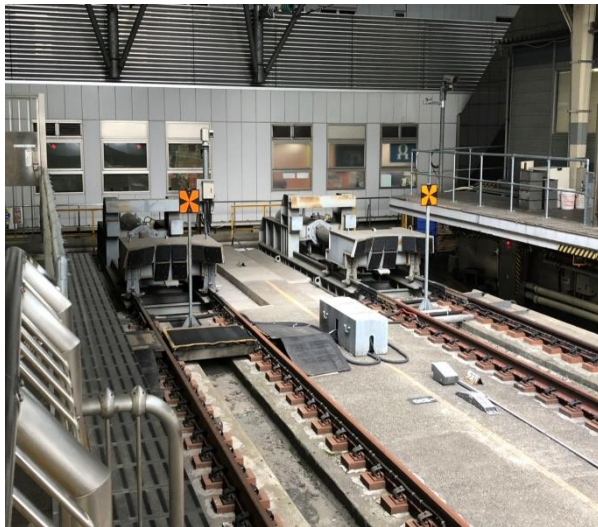
・Tokyo Disney Sea Electric Railway
Port Discovery Station



Electric Railway は基本自動運転で、オーバーランすることは考えられないが、万一の時の為に強固な車止めが使われている。

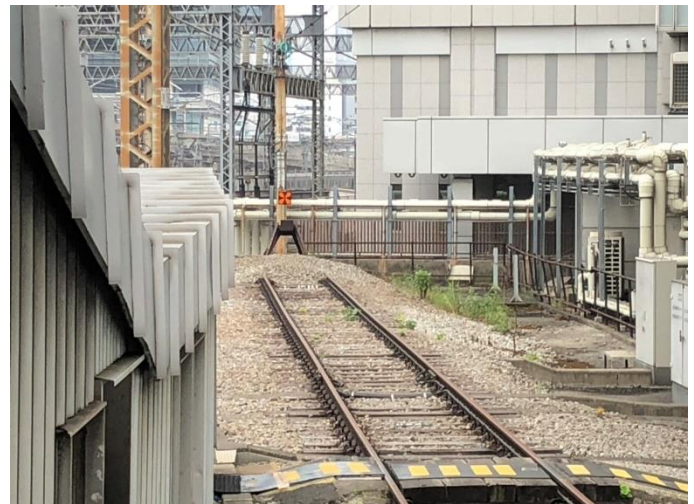
➤ ワケありの車止め

普通同じ路線の同じ駅には同じ種類の車止めが使われるはずである。しかし、中にはワケあって異なる種類の車止めが使われている駅がある。有名な例として、東海道新幹線の東京駅が挙げられる。



東海道新幹線の東京駅は、3つのホームに14、15、16、17、18、19番線の計6線ある。(3面6線)左の写真は17、18番線の端にある日本車輛製の車止めである。同様の車止めが16、17番線にも設置されているが、14、15番線には、全く異なる車止めが設置されている。

それが右の写真だ。これは前述した、第一種車止めであり、とても簡易な作りになっている。なぜなのか。理由として、東北新幹線との接続を考慮されているからだと思う。実現するかどうかはわからないが、いつか来るその日を見据えた設計になっているのである。



▶個人的に気に入った車止め

- ・一畑電車 雲州平田駅 車両基地



一畑電車の車両基地見学に行った際に撮った、車両基地構内にある車止めである。この様子からして、かなり風雨にさらされたのだろう。木も朽ち、鉄も錆び、草が生え散らかってしまっている。しかし、それがまたどこかこの車止めに歴史を感じさせてくれている。

～感想～

私は今まで、車止めが好きで、数多くの車止めを撮影してきた。普通、鉄道の終着駅に着くと鉄道ファンならず、車両の方にカメラ、スマートフォンを向けるだろう。しかし私はそんな中一人反対側を向いて車止めを撮影している（笑）でも、誰も見ていないものに価値を見出してこそ、より面白い鉄道の世界が開けてくると私は思っている。

今回、私が今まで撮り集めてきたもの、そして車止めの魅力をお伝えすることができてとてもうれしく思う。これからはただ駅に降りて行ってしまいうのではなく、少し車止めにも目を向けてみてほしい。いつか、車止めに魅力を感じる日が来るだろう。（たぶんないと思いますが、笑）

～参考文献～

- ・ <http://railmec.info/stopper/intro.html> 車止めの種類 8月18日 19:31 最終閲覧
（尚、写真は全て筆者が撮影。）